



平成19年12月5日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
(JASDAQ ・ コード 5 2 1 6)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 田 村 達 朗
電 話 0228 - 32 - 5111

連結子会社の株式譲渡に関するお知らせ

当社は、平成19年12月5日開催の取締役会において、当社100%子会社である株式会社LADVIK(以下、「LADVIK」)の全株式をベアリング・プライベート・エクイティ・アジア・ホールディングス株式会社(以下、「BPEAH社」)へ譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡に関する基本合意書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、現在LADVIKの取締役および監査役に就任している当社役員の鈴木聡、田村達朗および加賀谷洋三の3名は、株式の譲渡完了後LADVIKの取締役および監査役を辞任する予定であります。

記

1. 株式譲渡の理由

当社は、これまでフラットパネルディスプレイ(FPD)業界の好不況の影響を大きく受けるビジネスリスクを少なくすることならびに当社グループの業容の拡大を目的とし、M&A等による多角化戦略を進めてまいりました。特に安定的な収益が期待される精密スプリング等の分野では、計4社を子会社化するとともに、平成16年11月にはこれらを統合し総合精密部品メーカーを目指すLADVIKを誕生させました。同社は連結セグメント上で「精密スプリング製造販売事業」に当たり、堅実な業績で当社グループの重要な子会社に成長するに至りました。

しかしながら、競争の激しい経営環境の中で、今後同社を継続的に成長させるためには、超精密部品・複合部品への対応や海外展開などに新たな経営資源をタイムリーに投入することが必要不可欠であります。

一方、当社の主力事業であるFPD用基板加工販売事業は、動きが激しい市場環境の中で収益価値を高めるべく事業の再構築に取り組んでおり、グループ全体のシナジー効果を重視した戦略の強化も含めて、更なる経営資源の投入が必要な局面にあります。

こうした状況の中、LADVIKの成長の機会を逸することは、結果的に当社グループの価値を低下させると判断し、複数の候補先と資本提携などの可能性について協議してまいりました。その中で、海外展開に関して特にアジア圏を中心とするネットワークを活用できる点、また実際に製造業への投資・経営実績のある点等を重視して、BPEAH社への株式譲渡が最も望ましいという結論に至りました。

当社では、今回の株式譲渡による売却資金を借入金の返済等に充て今後の経営の自由度を高めることで、効率的かつ戦略的なグループ経営を推進することが可能となると判断し、今回の譲渡を決定したものであります。

2. 株式譲渡の内容

(1) 異動する子会社の概要

商号	株式会社 LADVIK
代表者	代表取締役社長 鈴木 聡
本店所在地	埼玉県蓮田市東四丁目 5 番 23 号
設立年月日	昭和 35 年 2 月 12 日 (LADVIK の前身である栗原スプリング工業(株)の設立年月日)
主な事業内容	精密スプリング・精密プレス品・ホースバンド等の精密金属加工、 精密プレス金型の設計・製作
事業年度の末日	10 月 31 日
従業員数	168 名(平成 19 年 10 月 31 日現在)
主要事業所	埼玉県蓮田市、長野県諏訪市、長野県飯田市
資本金の額	141,675,000 円
発行済株式総数	217,310 株
大株主構成および所有割合	株式会社倉元製作所 217,310 株(100%)
最近事業年度における業績の動向	(百万円未満切捨)

	平成 17 年 10 月期	平成 18 年 10 月期
売上高	3,594 百万円	4,001 百万円
売上総利益	893 百万円	1,030 百万円
営業利益	211 百万円	246 百万円
経常利益	255 百万円	333 百万円
当期純利益	152 百万円	214 百万円
総資産	3,796 百万円	3,968 百万円
純資産	1,929 百万円	2,047 百万円
資本金の額	141 百万円	141 百万円
1 株当たりの配当金	520 円 00 銭	2,850 円 00 銭

(2) 譲渡価額

26 億円を予定しておりますが、現在精査中であり、その結果を踏まえて BPEAH 社と協議のうえ最終金額を決定いたします。

(ご参考：平成 18 年度有価証券報告書において LADVIK の関係会社株式の額は 2,355 百万円となっております。)

(3) 譲渡先の概要

商号	ベアリング・プライベート・エクイティ・アジア・ ホールディングス株式会社
代表者	取締役 丸岡 正
本店所在地	東京都港区赤坂一丁目 12 番 32 号
設立年月日	平成 19 年 11 月
主な事業内容	有価証券の取得・保有、及びそれに付帯関連する一切の事業
資本金の額	30 万円

大株主 Baring Private Equity Asia IV Holding (4) Coöperatieve U.A.
当社との関係 資本関係、人的関係、取引関係等はありません

(4) 譲渡株式数および譲渡前後の所有株式数

異動前の所有株式数	217,310 株 (所有割合 100%)
譲渡株式数	217,310 株
異動後の所有株式数	0 株 (所有割合 0%)

(5) 日程

平成 19 年 12 月 5 日	当社取締役会決議
平成 19 年 12 月 5 日	基本合意書締結
平成 19 年 12 月 19 日	株式譲渡契約締結 (予定)
平成 19 年 12 月 19 日	株式譲渡実行日 (予定)

4. 今後の見通し

今回の株式譲渡により平成 19 年 12 月期において個別の特別利益に関係会社株式売却益として 2 億円程度の計上を見込んでおります。

なお、当社業績に与える影響につきましては現在精査中であり、明らかになり次第改めてお知らせいたします。

以上

(ご参考) 株式会社 LADVIK の沿革

平成 8 年 12 月	精密スプリング製造販売の栗原スプリング工業(株)を M&A にて子会社化
平成 10 年 3 月	精密板バネ製造販売の(株)ナンパックスを M&A にて子会社化
平成 12 年 1 月	栗原スプリング工業(株)と(株)ナンパックスが合併し、(株)クラモトハイテックに商号変更
平成 12 年 5 月	精密プレス品製造販売の松新精密(株)を株式交換にて子会社化
平成 16 年 3 月	ホースバンド等製造販売の(株)カネサン製作所を M&A にて子会社化
平成 16 年 11 月	(株)クラモトハイテック、松新精密(株)及び(株)カネサン製作所が合併し、(株)LADVIK に商号変更